

第三回摂津市デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会

開催日時 平成25年9月19日(木) 午後3時30分開会

午後5時00分閉会

開催場所 摂津市役所 本館3階 301会議室

出席者 敷本 悟 委員
吉田 和美 委員
尾崎 美穂 委員
筒井 豊 委員
竹田 浩昭 委員
岡部 寿子 委員
西村 ゆり子 委員
濱西 加代子 委員

事務局 総務部長 山本 和憲
総務課長 岩見 賢一郎
総務課長代理 鈴木 誠
保健給食係長 森崎 孝弘
保健給食係主事 寺嶋 和
保健給食係栄養士 川村 佳菜

事務局	<p>それでは、定刻となりましたので第3回摂津市デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、本日もご多忙の中、ご出席いただき有難うございます。なお、本日は食育指導主管課であります学校教育課長の岡部委員と味舌小学校PTA副会長の吉田委員におかれましては、初めてのご出席となりますので、一言ご挨拶をいただけたらと思います。</p>
岡部委員	<p>学校教育課の岡部と申します。よろしくお願いいたします。</p>
吉田委員	<p>味舌小学校でPTA副会長をしています。吉田です。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。岡部委員、吉田委員どうぞよろしくお願いいたします。なお、本日の検討委員会の終了時刻でございますが、おおむね午後5時とさせていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。それでは、委員長に進行をお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、次第に沿って進めてまいります。議事（1）「第2回検討委員会概要」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（説明省略）</p> <p>資料1を利用して、第2回摂津市デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会の概要について説明</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>次に、議事（2）「デリバリー方式中学校給食の保管・提供方法について」ですが、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（説明省略）</p> <p>資料2を利用して、デリバリー方式中学校給食の保管・提供方法について説明</p>
委員長	<p>事務局より、摂津市のデリバリー方式中学校給食の保管・提供方</p>

式について資料2のとおりの説明がありました。第1回、第2回とこの提供方法等について、委員の皆様にご意見をいただきましたが、どうでしょうか。文書にてご意見を頂いておりましたが、初めてのご出席の岡部委員、吉田委員は何かありますでしょうか。

岡部委員

食育の観点からしても、温かい物は温かく、冷たい物は冷たくというのが理想でございます。衛生管理というのが一番前提にあると思うので、おかずについては冷たい提供で良いのではないかと思います。その代りにバランスのとれた副食にさせていただいて、汁物あるいは汁物容器を使って献立にアクセントをつけていただけたらと考えています。

委員長

岡部委員、ありがとうございます。吉田委員どうでしょうか。

吉田委員

私も同じ意見です。

委員長

議論も尽くしたようですので、結論としては資料2のとおり、配送中については蓄熱材・保冷材を活用して、保温コンテナを利用する。提供までの保管は、温蔵庫・冷蔵庫を利用し、主食と汁物は温かく、副食は冷たい提供でよろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

委員長

それでは、第1回の検討委員会から協議させていただいたデリバリー方式選択制中学校給食の保管・提供方法についての協議は以上とさせていただきます。今後、この結論をもとに事務局で準備を進めて頂きたいと思いますが、事務局はよろしいでしょうか。

事務局

はい、委員の皆様それぞれの立場からの貴重なご意見、有難うございました。本委員会でごまとめた提供方法と保管方法について、今後準備を進めて参りたいと思います。

委員長

それでは、次の議事に移りたいと思います。議事(3)「各中学校配膳室について」ですが、事務局より説明をお願いします。

事務局	<p>(説明省略)</p> <p>資料3、4を利用して、各中学校配膳室について説明</p>
委員長	<p>委員の皆様何かご意見はありますでしょうか</p>
筒井委員	<p>第一中学校で配膳室候補を、第3希望まで出させてもらっていて、第1希望が一応校務員室という形になっておりますが、その辺りを別途相談しないといけないと思っています。またそれ以外の適当な場所があれば時間もないので検討していきたいと思います。それからもう一点は、資料3に※印で書いてもらっている、第二回デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会の中での購買部について確認ですが、第一中学校の場合は、たまたまこれがあるから購買部を廃止するというよりも、長年働いてこられた方が辞められるということで、平成27年度に廃止の予定です。来年度の平成26年度まではとりあえずはさせてもらおうと思っています。ただ、平成27年度に廃止というのも決定かということ、今後色々検討の余地はあるということで、そこだけ確認しておきます。</p>
委員長	<p>議事(3)についてはこれで終了します。</p> <p>続いて、議事(4)「デリバリー方式選択制中学校給食の提供量及びアレルギー対応について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本委員会では第1～3回までにおいては、給食の提供方法及び配膳室についての協議を行ってきました。そして、現段階での一定の方向性が出ました。本日は、残りの時間を利用して、尾崎委員より提出のあった要望書の中から、いくつかピックアップして協議していただきたいと思います。提供量とアレルギー対応について、事務局の栄養士からご説明させていただき、委員の皆様にご意見交換していただきたいと思います。</p> <p>(説明省略)</p> <p>資料5、6を利用して、デリバリー方式中学校給食の提供量及びアレルギー対応について、資料7を利用して大阪府下の状況及び予定について説明</p>

委員長

事務局より議事（４）デリバリー方式中学校給食の提供量及びアレルギー対応について、説明がありました。第１回の検討委員会でも少しこの点については意見が出ていました。今後、調理業者との契約のために事務局としても、仕様書の作成を進めていかれることと思います。いずれ今年度の後半で再度集まって協議していくテーマの一つであるかと思います。今日で一定の結論・答えを出すわけではありませんが、委員の皆様のそれぞれの立場から自由に意見をいただきたいと思います。

竹田委員

吹田市に以前おりました関係で吹田市の資料をいただくことができました。10月の献立表等をFAXで送っていただきました。手元にA4が4枚とA3の裏表で印刷されたものがあり、生徒全員に配られるそうです。その中には、毎日のメニューや、前からネーミングが凝っている印象でしたが、給食に魚がある時も上手にネーミングに入れたものもあります。それぞれのメニューの中に食材表が入っており、注文する前に食べられるかどうかを見たらわかるようになっています。アレルギーの一覧には、卵、牛乳、小麦、エビ、豚肉、鶏肉、大豆、サバ、リンゴ、桃、その他について入っているかどうか毎日表示されています。こういった形で生徒、保護者に丁寧に情報提供することによって、選択する時に大変参考になるのではないかと思います。大変でしょうけれども、これぐらいわかりやすい資料を提供することによって、喫食率、また安全な給食の提供に繋がるのではないかと思います。

委員長

栄養士の立場として西村委員いかがでしょうか。

西村委員

献立作成についての資料を見せていただきましたが、小学校も毎月日々の献立をたてておりますので、資料に記載されているとおりに考慮しながら考えています。また、お弁当となると小学校では大きいおかず、小さいおかず、それからご飯やパン、たまにデザートが基本となります。お弁当となるともう少しおかずの部分が細くなるのではないかと思います。先ほど竹田委員がおっしゃられましたが、栄養を細かくお知らせすることで、安心して頼めたり、細かい部分ですが名前を工夫することで興味が沸いたりします。小学校の給食でも繋がることですが、魅力のあるものにならないと申し込み

が少なくなると思います。そういったことを魅力の一つにして、可能な範囲で取り組んでいただきたいと思います。工夫して色々な食材を取り入れる予定なので、苦手な食材も入っていることもあると思います。ですが、申し込まれる中学生に健康面について考えてもらいたいのと、小学校の延長となりますが、自分の体の健康づくりの一環として、小学校の間だけ健康づくりをするのではなく、自分の体は一生使うもので、中学生もさらに体が出来上がっていく時期ですのでそういったこともふまえて選んでいただきたいと思います。

岡部委員

献立等大変よく考えて頂いておりますが、デリバリー方式選択制中学校給食ということなので、できるだけたくさんの生徒に利用してほしいと考えております。主食の量のことですが、体格の違いが生徒にはありますので、大変だとは思いますが、おかわり用の主食を用意していただけるのであれば、たくさん食べる子ども達も遠慮なく申し込めるのではないかと思います。また、アレルギーのことについては、生徒や保護者に丁寧な情報を提供していただき、情報をしっかりと読み取ってもらい、正しく選択する形が取れると思うので、大変だとは思いますが丁寧な情報提供をお願いします。

委員長

濱西委員いかがでしょうか。

濱西委員

主食の量の調整方法に関して、おかわり用を準備するのであれば、おかわりをしない子がたくさん出た場合、残った分を廃棄することは環境に良くないと思います。増やすことに関しては、各個人が家からご飯くらいは持ってくるのは可能だと思います。減らしたいという子が出た時の方が考えないといけないと思います。アレルギー対応については、私の担当は家庭科ですので、調理実習をする時に生徒にアンケートをとってからメニューを考えています。調理実習では卵の使用が多く、生徒に聞くと生卵は無理だけど火を通せば食べられたり、中学生になって食べられるようになったという生徒もいるので、アレルギーも個々で違いがあるものだと思います。1日にどれだけの人が頼むかは予想できないですし、初めから除去したものを提供するのは無理があるのではないのかと思います。とりあえずは情報提供をして、選べるようにすることから始めたらいいのではないかと思います。

最初からご飯の量について、残すことと足りないことは子どもの食育にもつながるのでずっと引っ掛かっていました。男子の方が食べる量が多くて、女子の方が比較のお弁当箱が小さいので、男女同じお弁当を提供すると確実に女子の方がたくさん残したり、男子は足りないということが起こります。クラスの関係がうまくいっていれば女子が男子にご飯をあげたりということもあるとは思いますが、毎日デリバリーのお弁当を頼んで残すというのは親として引っ掛かる場所です。ご飯が足りないのならおにぎりを持ってきて補うのは可能だと思います。小学校は1年生から給食が始まって先生と一緒に給食を運んで一緒に食べるきっちりとした食べ物を大事にするという関係性ができています。他の中学校の給食の話を聞いていると、中学校になると小学校でできていた子も食べ物を粗末にしたり、牛乳を流して捨てたりし、それは親の責任でもあると思います。ご飯の容器は一緒に盛り方を変えろとか、男子はしっかりめで女子は軽く盛るような男子、女子で選べるように、可能であればやっていただきたいと思います。重さで選ぶのは大変だと思うので、2種類のAパターン、Bパターンから選べるようにしてもらえるといいと思います。

アレルギーのことですが、卵アレルギーが多いと思いますが、小学校の給食はそんなに卵が出なかったと思います。自分の子どもが極度の卵アレルギーで、他のアレルギーもあったのですが、完全除去で卵を食べないようにさせてもらっていて、極端に卵っていう感じがなく、デリバリーのお弁当はどうなのかなと思います。保護者が作っているお弁当に卵は大事で必ず入っていたりします。実際提供してもらえるお弁当に卵が入っている頻度が高ければ、卵が食べられない子は毎回食べられないことになってしまうのと、卵の量などはどうなのかわかりたいと思います。中学校くらいになれば食べられるようになったりするのですが、何かあったらどうしようと思います。本人は怖いから食べません。頻度的なものがわかればいいかなと思います。先のことになるかもしれませんが、給食が始まって、お弁当を食べ始めた時に半年や1年経って、給食がおいしくないというのは誰に言ったらいいのですか。できれば、声を聞いていただける場所を明確に作っていただけたら有難いと思います。

竹田委員

尾崎委員の発言にあった卵ですが、吹田市の資料を見る限り 10月には卵が入っているのは 21 回中の 8 回です。吹田市は保健給食課というところが担当しているのですが、結構な回数で、何でも書いてもらっていいアンケートをしていました。給食室のポストに入れて、焼き肉を増やしてほしい、おいしくしてほしい、魚をやめてほしいなど、どんどん入れてもらっていました。生の声を聞ける機会というのを設定すればいいと思います。

吉田委員

私の子どもは好き嫌いが激しくて、小学校の時も担任の先生から極端に嫌いなものは一口サイズくらいまで減らすというのを聞いたことがあります。やっぱりご飯の多め少なめを選択できたら有難いなと思います。私の子どもはご飯も比較的苦手なので、少なめとか選べたらいいと思います。

筒井委員

色々な立場から色々な意見が出たと思いますが、アレルギーについては業者自体が対応できるに越したことはないのですが、他市の状況を見ていて、全面的に対応をお願いすると、手を上げてもらえる業者がいなくなるかもしれませんので、情報提供をしっかりともらえたらと思います。ご飯の量についても話を詰める必要はあると思います。何らかの対応はしてほしいです。学校の購買部も含めてこれから考えていかないといけないと思います。

西村委員

摂津市は献立等がまだ始まっていないので正確なことは言えませんが、先ほど資料で見ていただいた標準食品構成表を見ましたら、卵が 12g となっており、大体 4 分の 1 個から 5 分の 1 個となり 1 日分はそのくらいの使用量になります。卵をあまり使うとなると、標準構成表の基準の量を越してしまうので使用回数も必然と減ってくると思います。アレルギーについて除去食等は難しいですが、ある程度可能な範囲で対応していくのと、卵の使用回数については標準食品構成表を見る限り、毎日使うのは逆に難しいと思います。卵の使用回数も吹田市と同じような形になることが推測できます。

委員長	各委員の立場から、様々な意見が出ましたが、事務局として現段階で補足しておくことはありますか。
事務局	委員の皆様貴重な意見ありがとうございました。アレルギーの点で濱西委員からもありましたとおり、資料7をご覧いただきたいのですが、アレルギー対応の全員喫食のところで、池田市では中学生にアンケートを行い最終判断するともお聞きしているのですが、アレルギーについてはそういったアンケートも含めて今後検討が必要だと思います。尾崎委員と竹田委員からありました検証に関して、アンケートを通して検証委員会を設置している自治体もいくつか聞いておりますので摂津市としても検討していきたいと思っております。
委員長	それでは、議事（5）「デリバリー方式選択制中学校給食の予約システムの予約期限と予約方法について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	（説明省略） 資料8を利用して、デリバリー方式中学校給食予約システムについて説明
委員長	事務局よりデリバリー方式選択制の予約システムについて、説明がありました。選択制を採用するにあたっては、予約システムは必要不可欠であり、様々な観点から十分検討されなければなりません。委員の皆様のご意見をお願いします。
西村委員	予約単位ですが、生徒にとってはその日ごとで好きな日を選べた方がいいとは思いますが、できれば先ほど事務局からの説明があったように、その日ごとに必要な栄養を摂れたら一番いいのですが、一週間・一ヵ月単位で、全体の栄養のバランスが摂れるようになっていきます。魚や肉がメインの日があり、色々なメニューの日を合わせて初めてバランスがとれるようになっていきますので、一日単位よりももう少し長い、栄養バランスがしっかり摂れる期間で、設定していただきたいと思っております。

尾崎委員

保護者としては、一日単位で、なるべく寸前まで予約できるようにしてもらいたいというのは、忙しい母親の願いであります。中学校に行っている間はずっとデリバリーの弁当にするというのは少ない気がします。新しく入学してくる人とは違って、今通っている生徒の保護者は、選択ができて様子を見て頼むと思います。一ヵ月単位・一週間単位等のかかり前では予約・注文で影響は数字などで出ないでしょうか。

事務局

大阪府下でデリバリー選択制を実施している市では、直前の予約・キャンセルをする方々は、ある程度固定はされてくるというような意見を予約システムの業者から聞いています。それが原因で予約等の変動が激しくなるわけではないのと、また最初の導入時は予約数が見込めないとはお聞きしています。

尾崎委員

親の立場では多数の人が寸前まで予約・キャンセルできるのが理想だと思います。ただ、栄養面等を考えて、一週間単位、一ヵ月単位にするのが本当の理想だと思います。全員給食ではなく選択制なので、キャンセルよりも予約するの一ヵ月単位というのは厳しいと思います。せめて一週間前か二週間前にしてほしいです。何人かの保護者に聞いた時に、一番予約のことを気にされていて、一ヵ月前では予定もわからないと言っていました。子どももおいしいと言ってお弁当がいいと言えば、母親も楽になって、一ヵ月単位であろうが二ヵ月単位であってもみなさん頼むと思います。そうなるのはまだ難しいのでできれば寸前まで予約ができた方がいいと思います。

竹田委員

私の認識で選択制の注文は、一ヵ月分を注文するかしないか、それか日にちを選択して注文するということだと思います。この日は頼んでこの日は頼まないとなると栄養のバランスが崩れるということですが、ただ、選択制である以上、子ども達がこれを食べたいというのを選んで、あとはこれはだめだから家でお弁当を作る、というような方式をとっているのが現状だと思いますが、それでいいとは思いません。管理職の立場から一ヵ月前の予定を出すのは大変でした。吹田市の中学校にいた頃、一ヵ月前の予定を保健給食課が聞いてきまして、明らかにわかっている予定は書けますが、訂正が必

要になる日もあり、神経質になってしまうのは確かです。学校の教頭先生には頑張ってもらいたいと思います。

きっちりとしなければ食材がたくさん余ってしまったり、業者に迷惑がかかることがあります。また大阪市が支払い期限までに支払いが無い時は自動的に予約がキャンセルになるとなっていますが、吹田市も同じでした。食券はパソコン・スマートフォン・マークシートで申し込みます。申し込んだ内容でコンビニ用振込用紙が自宅に送られてきて、振込用紙をコンビニで期限内に振込し、確認した業者が食券を送ってきます。何枚かの綴りの食券ではなく、注文の日付と名前が入った食券のため、確実にその人しか食せないようになっています。

筒井委員

給食費のように未納問題が発生するようなシステムであれば、教職員が取り立てをすることになると、学校としては負担になるので、きっちり支払った分だけの食券が届くシステムについてはいいと思います。前回も言いましたように、やるからには喫食率を高めたい。さらにもっと言えば一日単位、一ヵ月単位に関わらず、子ども達にしっかり栄養を摂らしていきたいと思っています。

余談ですが、喫食率を上げる一つの方法としては、教職員が給食を注文して、教室で食べる姿を子ども達に見せることで、注文に繋がるのではないかと思っています。

濱西委員

今第三中学校にいるんですが、子どもの様子を見ていますと、子ども同士と一緒に食堂に行く約束をするなど、誘いあっているのをよく見ます。デリバリーのお弁当になってもメニューを見ながら、子ども同士で選んでいくようなイメージがあります。保護者の方が、お弁当を作れないから、デリバリーのお弁当にしようという頼み方よりは、子どもの希望が優先されて、子どもが食べたい日を選んで注文することが多いと思います。できれば子どもが申し込みやすい方法があった方がいいので、一ヵ月前とかよりは、寸前までの方が子ども達同士で選びやすいと思います。また、予約方法なんですけど、マークシートというのはどこに予約するんでしょうか。

事務局

マークシートについて、お渡しするのは主に配膳室が多いと思います。年度末にお話しを聞かせていただきたいのですが、マークシ

ートの処理をするのが、学校なのか、教育委員会なのか、あるいは配膳室にいる調理業者が回収して処理をするのかなど、何通りか考えられます。生徒からすれば回収は配膳室になると思います。

濱西委員

パソコンや携帯電話を保護者しか持っていない家庭もあり、保護者の帰りが夜遅い場合には、なかなか頼みにくいと思います。マークシートで子ども自身が簡単に書けて申し込みをする方が、いいのかなと思います。携帯電話でサイトに番号など入れないといけないのであれば、マークシートのように形に残る方が、子どもが簡単に頼めていいと思います。

竹田委員

パソコンやスマートフォンは暗証番号、パスワードが配布されます。その番号で画面に入ります。マークシートはA4のプリントにメニューが書いているところに印をつけて、名前を書いて給食室のボックスに入れるという方式を、吹田市では取っていました。

吉田委員

保護者の意見としては、一食ずつ一日単位で予約できた方がいいと思いますし、栄養が摂れるなら、一週間、一ヵ月単位ではなくても、そこまでこだわりはしないです。

岡部委員

中学校に勤めさせていただいていた経験から、濱西委員がおっしゃっていたように、生徒同士で約束をして注文することもあると思います。よりたくさんの生徒に食べてもらいたいと思っておりるので、自分の健康のことも考えながら、子ども達が比較的注文しやすい方法にしてほしいと思います。また、中学生にもなると家庭で家族の方との会話も少なくなると保護者からよく聞き、デリバリーの弁当を注文するということでも、家庭での会話も増えていくのではないかと思います。友達や家族と色々な話をするということで、予約は寸前までできる方が良いが、キャンセルについては当日とかではなく、一週間前にする等、計画性を中学生に求めていいのではないかと思います。

尾崎委員

予約方法ですが、なるべくパソコンや携帯電話を取り入れていただきたいと思います。中学生は親に学校からの手紙を渡しません。手紙を見たら行事が終わっていたとか、来てほしくなかったら隠し

たり、どうしてもよければ鞆の中に入れてそのままにしています。小学校であれば鞆の中を見たりしますが、中学校だとできなかつたり、しない保護者も多かつたりするので、マークシートも色々な場面で必要だと思いますが、携帯電話とスマートフォンであれば気楽に保護者が申し込みできると思います。せっかくこんなによりよいものにしてしているのです、一食でも多く食べてもらい、続けてもらいたいと思います。

委員長

委員の皆様から、さまざまな意見が出ました。利便性を追求すれば、当然前日や当日のキャンセルができる方が良いという印象を受けます。その一方で、栄養士が作成された献立は一カ月のトータルでバランスのとれたものですから、一日単位ではなく、一カ月きっちり食べてもらいたいという考え方も理解できます。実際に一カ月単位での注文方式を取っている自治体もあります。事務局いかがでしょうか。

事務局

委員の皆様、貴重なご意見有難うございました。この予約システムにかかる期限・予約単位・方法については資料にもあります様に各市の対応は様々です。これは、市の考え方や方針を調理業者がどのように実現できるか、受け入れられるかによっても実現できる姿が変わってくるからです。予約システムのルールを利便性に特化したものにしていくと逆に受託業者が少なくなってしまう可能性があります。今後、引き続き先進市の動向や調理業者、予約システム会社のヒアリングを重ねて、摂津市の予約システム及び調理業者の委託の仕様を作成していきます。一定の仕様書案がまとまった段階でこのテーマについても、改めて協議させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

委員長

事務局の現段階としての見解が出ましたが、委員の皆様、何か意見はありますでしょうか。

各委員

異議なし。

委員長

続きまして、議事（6）その他ですが、事務局より説明をお願いします。

事務局

(説明省略)

- ・ 第 1～3 回の結論等確認
- ・ 次回検討委員会日程、議題について
- ・ 他市の給食試食会の日程調整・確認

委員長

本日はこれにて終了とさせていただきます。